



# 鴨川だより

第3号 令和5年 5月19日

生徒が主体的に未来を創る学校

## 学年当初の様々な行事が実施されています。

### 【生徒のみなさんへ】

体育会の合同練習も始まり、各学年の学年行事も実施されました。1年生の集団づくり訓練、2年生の岡山市班別自主研修、3年生の沖縄修学旅行。学年当初にこうした取り組みを進めることで、各学年ごとの発達段階に応じた成長を促しています。忙しい時期ですが、乗り越えていきましょう。6月からは部活動の大会がスタートします。忙しい毎日が続きます。その中で学習活動にも取り組まなければ自分の望む未来を拓くことが困難になります。2か月サイクル学習を有効に使い、自分の学力を高めていきましょう。



### 【保護者のみなさまへ】

生徒たちは積極的に活動し、彼らなりに楽しんでいきます。本校の生徒は素直で積極的です。その反面、様々な行事が行われる中で、浮き彫りになる課題があります。

#### ①社会行動の常識を知らない生徒が多いことを痛感

JRやバスの乗り方がわからない、切符の買い方も知らない、エレベーターの利用方法も知らない、ホテル等の公共の場でのマナーを知らない、チケットや貴重品等の管理ができない。そんな状況があることが明確に見えてきます。社会経験をさせていくことは重要な家庭教育の一環ですが、学校としても何ができるか考えていかなければならないと考えます。

#### ②固定化された人間関係から関係性を広げられない傾向がある。

固定化された人間関係の中でしか楽しめない生徒、「友達」をつくっていけない生徒、友達ではない仲間と楽しめない生徒等、社会で求められる円滑な人間関係をうまくこなせない生徒が多いことが明らかになっています。

友達はプライベートで仲良くするもの、学校という公の場では日頃の生活も行事での活動も友達ではない同級生と楽しく取り組めるスキルが将来の社会生活に必要な力となります。

本校では「こみゅトレ」という時間を設定しています。そうした取り組みを一層充実させなければならぬと感じています。ひょっとしたら一小一中の弊害かもしれません。岡山や倉敷等の他地域ではだいたい、小学校数校が1中学校に集まるという経験をします。中学1年生の時期は、本来、新しい人間関係形成でゴタゴタします。そのゴタゴタがないのは逆に成長にはマイナスなのかもしれません。何か取組を考えたいです。



### 生徒のみなさんへ「荘内よろず相談窓口」開いています

ネット相談窓口を開設しています。悩みがあったら相談してください。  
右のQRコードからフォームを入力して送信してください。



### 【保護者のみなさんへ】

荘内中学校では、生徒の活躍や様々な学校の方針等を随時、学校ホームページで紹介しています。ぜひご覧ください。右のQRコードでご覧いただけます。

